

【“ロシア民族楽器オーケストラ”～東京バラライカアンサンブル】

日時： 2008年2月24日(日) 13:30～14:30
会場： 東京富士美術館 ロビー
出演： 東京バラライカアンサンブル(フル編成) 吉岡弘行(指揮)
内容： 日本唯一のロシア民族楽器オーケストラ「東京バラライカアンサンブル」が富士美♪に登場！
82年、故・北川つとむが結成以来、国内はもとより「チャイコフスキーホール」(モスクワ)や
「白夜祭」(サンクトペテルブルク)等、ロシア各地で度々公演、絶賛されています。
今回は客演指揮に吉岡弘行を迎えフル編成で出演。ロシア珠玉の名曲をお楽しみください！

曲目： 祝典ポロネーズ(V.アンドレーエフ)、ロシアのワルツ(V.ゴロドフスカヤ)、
古き菩提樹(P.クリコフ)、ワルツと行進曲(V.アンドレーエフ)、ロシアファンタジー(V.ゴロドフスカヤ)
《楽器紹介》ヴォルガの舟歌[バス]・トロイカ[アルト]・ともしび[マーラヤ]・カリнка[バラライカ]
ララのテーマ(M.ジャール)、道化師の踊り(P.チャイコフスキー)、
展覧会の絵より「キエフの大門」(M.ムソルグスキー)

●東京バラライカ・アンサンブル ～ロシア民族楽器オーケストラ～

1982年、北川つとむが日本初のロシア民族楽器オーケストラとして結成。92年、創立10周年記念演奏会。92・93年、ロシアで開催の「国際民族楽器フェスティバル」に日本代表として参加。96年、モスクワの「チャイコフスキーホール」「グネーシン音楽アカデミー」にて演奏会。同年秋、帰朝公演(練馬文化センター)。97年、創立15周年記念演奏会(浜離宮朝日ホール)。99年、サンクトペテルブルク「白夜祭」フェスティバルに参加、4公演を行い絶賛される。01年7月には、ロシア・ヴォルガ河畔の各都市で演奏するなど、ロシアとの友好親善を図っており、その演奏は高く評価されている。

02年、創立20周年記念演奏会(なかのZEROホール)。05年9月、当アンサンブルの主宰・指揮・編曲者であった北川つとむ逝去(享年49歳)。06年より、吉岡弘行を客演指揮者に迎え、7月「北川つとむ追悼演奏会」を開催(カザルスホール)。07年10月には、創立25周年記念演奏会(文京シビック大ホール)を開催した。

二期会をはじめ声楽家や合唱団とも数多く共演。日本唯一のロシア民族楽器オーケストラとして、国内での活発な演奏活動はもとより、ロシアとの国際親善にも多く貢献。来日するアンサンブルやソリストのプロデュースも手がけている。



●吉岡弘行(客演指揮者)よしおか●ひろゆき

東京藝術大学作曲科卒業。同大学院修了。作曲を河田文忠、北村昭、小林秀雄、佐藤眞、指揮法を坂本和彦、ヘルムート＝リリンク、ヴァイオリンを井崎郁子、澤和樹、ピアノを野村真理の各氏に師事。第10回笹川賞及び第52回日本音楽コンクール作曲部門第2位(1位なし)受賞。これまでに日本ニューフィルハーモニー管弦楽団、岡山交響楽団、西日本医科学生オーケストラ、葛飾フィルハーモニー管弦楽団、北浦室内管弦楽団、原宿パロックアンサンブル、東京混声合唱団、武蔵野市民合唱団、同志社混声合唱団、東京クローバークラブ、葛飾区民合唱団、ジョリーラジャース、松戸市民コンサート、葛飾区民ミュージカル等を指揮。「声楽集団ムーサ」の音楽監督として数多くのコンサートを企画、編曲、指揮する。東急文化村では、歌劇「ホフマン物語」を指揮し好評を博す。また讃禱歌の編曲、指揮者としてニューヨーク国連本部、バンクーバー、パリ、ヴァチカン市国、ハイデルベルグ、フライブルク、北京、西安、台北などで公演を重ねる。

現在は作曲家、アレンジャー、指揮者として広く活躍中。2006年より東京バラライカ・アンサンブル客演指揮者となる。